

第 49 回衆議院議員選挙に際して
**LGBT (SOGI) をめぐる課題に関する
各候補者の政策と考え方に関する調査<／＼調査票>**

**LGBT 法
連合会**

政党名 (立憲民主)
選挙区 (衛星団 3 区)
候補者名 (小山辰弘)

問1. 個人の選挙公約に性的指向・性自認に関する人権を保障する施策について記載はありますか。 (選択式)

- 選択肢 ①記載がある
②記載はないが、取り組む予定である
③記載はなく、取り組む予定もない
④その他 ()

問2. 超党派の「LGBT の課題を考える議員連盟」で今年 5 月に与野党合意に至った法案について賛成ですか反対ですか (選択式)

- 選択肢 ①賛成
②反対
③その他 ()

問3. 性的指向及び性自認に関する法整備について、いつまでに成立させるべきとお考えですか (選択式)

- 選択肢： ①早急に成立させるべきだ
②法整備は必要だが、さらに検討を重ね、国民的合意を図るべきだ。
③法整備の必要性について、引き続き議論すべきだ。
④法整備は必要ない
⑤その他 ()

(次のページへ続きます)

小山恵弘

問 4.以下の各分野の課題について、どのようなスタンスでしょうか。（選択式）

| | 賛成 | どちらか といえば 賛成 | どちらか といえば 反対 | 反対 | その他／1-4 から選択肢を選んだうえでの補 足、等（自由回答） |
|--|----|--------------------|--------------------|----|-------------------------------------|
| (1) LGBTに対する（性的指向・性自認に係る）、差別や不利益取扱い防止・禁止する法律やルールを制定すべきだ。 | 1 | ② | 3 | 4 | |
| (2) 学習指導要領に盛り込み義務教育の中で性的指向・性自認の多様性について子ども達に教育すべきだ。 | 1 | ② | 3 | 4 | |
| (3) 学校における、LGBTへのいじめ・ハラスメントの防止体制を確立すべきだ。 | 1 | ② | 3 | 4 | |
| (4) 多様な性自認・性的指向に基づいた適切な対応ができるよう、教育現場や医療現場など各分野の実態調査を行い、結果を公表すべきだ。 | 1 | ② | 3 | 4 | |
| (5) 性的指向・性自認に関する職場の取り組みについて、国が広くガイドラインを策定するなど、企業等の取り組みを積極的に支援すべきだ。 | 1 | ② | 3 | 4 | |
| (6) 困難を抱く「LGBT」等当事者に対する、相談・支援の仕組みを、学校・職場・地域等に整備するべきだ。 | 1 | ② | 3 | 4 | |
| (7) 相続や各種の保障などについて民法上、同性パートナーが配偶者として扱われないことで生じる不利益を、同性パートナーも配偶者として同等に扱うことで、解消すべきだ。 | 1 | ② | 3 | 4 | |

(次のページへ続きます)

LGBT法
連合会

調査票 3/4

問5.性同一性障害特例法の見直しについて、下記の背景を踏まえて、お答え下さい。（選択式）

（背景）

戸籍の性別変更の要件は、性同一性障害特例法（2003年成立、2008年改正）で定められています。しかし、海外の現状と比べると要件が厳しすぎると指摘されています。現在要件外の当事者についても、円滑な社会生活を行えるよう、改正を求める強い要望が当事者団体などから出されています。たとえば、

・「現に未成年の子がないこと（子なし要件）」に関して
→未成年の子どもがいても、子どもが親の外見等の変更を受け容れていたり、円滑で安定的な就労による子の扶養のためにも、性別変更が望ましいと思われるケースが少なくない。性別変更を認める諸外国（イギリス、フランス、イタリア等）では、こうした要件を課す国はない。

・「手術要件」に関して
→既に海外では手術を性別変更の要件にしない国が増えつつある（現在81ヶ国）。WHOの勧告にあるように、戸籍の性別変更に手術を要件とすることは、人権上問題である。また身体的・経済的負担が非常に大きいことからも問題であり、外すべきである。加えて、たとえば卵巣はあるが子宮がない（あるいは機能していない）ような場合にも手術を必要とするのは、不適切である。

・「非婚要件」に関して
→特例法では性別変更にあたり「現に婚姻していないこと」を要件にしています。この「非婚要件」については近年ヨーロッパ諸国を中心に同性婚が認める国が増え、そのような国々を中心にこの要件は廃止となっています。

| | 積極的に見直して改正すべき | 改正が必要か否か検討すべき | 見直す必要はない | 答えられない／わからない | その他／1-4から選択肢を選んだうえでの補足、等(自由回答) |
|---|---------------|---------------|----------|--------------|--------------------------------|
| (1) 子なし要件を削除し、家庭裁判所による個々の事情を踏まえた判断にゆだねる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (2) 手術要件を削除する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (3) 必要な関連法改正を行ったうえで、非婚要件を削除する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

小山辰三

(次のページへ続きます)

問6. 最後に感想や、当事者やその家族の皆さんへのメッセージなど自由にコメントをお願いします。

今や会う事も、向伍婚式(=カツフルガ)
いらしくあります。
多様な性や性別の方々が
愛され入れられる社会にならなくては
望みます(。方段は立派れだと思ます)。

小山辰彦

アンケートは以上となります。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。